

Tuuli

2010年1月15日発行

今日はもう小正月です。皆さまはどのようなお正月をお迎えになられましたか？
本年もどうぞご支援のほどよろしくお願いいたします。

さて、錦の特養ではお正月から体調を崩される方が出ました。ボランティアの皆様にも大変ご心配をおかけいたしました。まずはそのご報告からさせていただきます。



協力のお礼と今後に向けて



ボランティアの皆様には、いつもご支援をいただきありがとうございます。

既にご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、年が明けて1月2日より、特養4階を中心として嘔吐や下痢を主症状とする感染性胃腸炎が発生いたしました。そのため、活動等のお年寄りが交差することを制限する必要性があり、急遽活動の中止をお願いするなど、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

その結果、ボランティアの皆様や関係各所の協力をもちまして、症状のある方も徐々に減り、1月13日より通常通りの生活に戻ることになりました。本当にありがとうございました。

昨年来、新型インフルエンザの脅威がニュースになりましたが、一般に流行する季節性インフルエンザや感染性の胃腸炎などは、施設内に完全に侵入を防ぐことは大変難しく、感染はお年寄りだけでなく職員も注意が必要です。もちろん、特別養護老人ホームはお弱い方が大勢いらっしゃるために容易に拡大する可能性が高くなります。そこで発生時には速やかに対応し、拡大を防ぐことが最優先となります。

ボランティアの皆様におかれましても、感染症発生時は今回のようにご協力をいただくことがあるのと同時に、ご自身の健康管理に十分留意していただきますようお願いいたします。活動に当たっては体調が良くない場合は無理をせず、活動の前後は手洗い・うがいを十分行ってください。予防は、自分自身を守ると同時にお年寄りを守ることに繋がるからです。

今後とも引き続き変わらぬご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

平成22年1月12日

至誠特別養護老人ホーム 副園長 鈴木篤



ボランティアコーナーの対応について



支援室より連絡を受け、12日までクラブ活動中止のお知らせを担当のボランティアさんに連絡いたしました。また特養の各フロアで活動をしてくださっているボランティアさんにも現状をお伝えいたしました。そのうえで感染の予防に気をつけて活動いただくか、大事をとってお休みいただくかはご自分でご判断いただきました。至誠ホームではボランティアさんに必要な情報は速やかにお知らせし、共有したいと考えています。

ご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

